

ダイズモザイクウイルスに強い 黒大豆新品種「兵系黒4号」の育成

【背景・目的・成果】

「丹波黒」は兵庫県を代表する極大粒の煮豆用・枝豆用の黒大豆ですが、ダイズモザイクウイルス(SMV)に感染しやすいため、生産現場からは防除対策が強く求められていました。

そこで、「丹波黒」の遺伝的背景を93.8%有し、「丹波黒」とほぼ同等の特性を備えたSMV抵抗性黒大豆「兵系黒4号」を育成しました。

病害の被害状況



ダイズモザイクウイルス(SMV)による被害の様子(葉の萎縮、茶斑莢)

感染すると10%程度減収します。

兵系黒4号の特徴

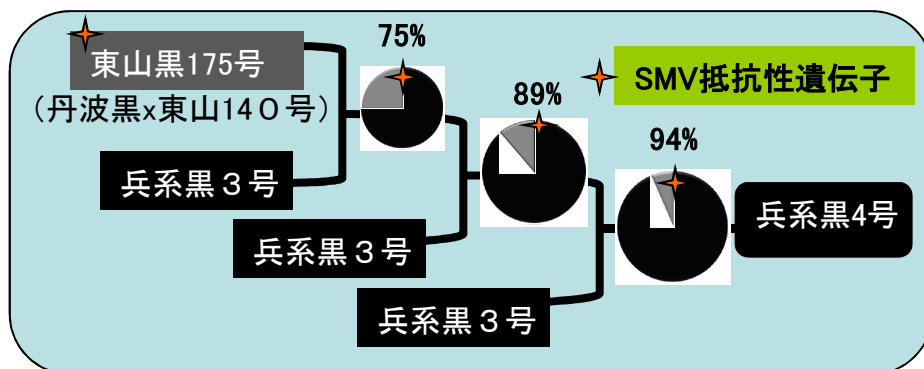


兵系黒4号



兵系黒3号

育成の系譜



2002年にSMV抵抗性を備えた「東山黒175号」を母、「丹波黒(兵系黒3号)」を父として人工交配しました。この系統に「兵系黒3号」を2回戻し交配して「兵系黒4号」を育成しました。図中の数字は「兵系黒3号」の遺伝的背景を示します。数字が大きくなるほど、「兵系黒3号」の特性に近づき、粒型も大きくなります。

強いSMV抵抗性を持ち、葉の萎縮、茶斑莢の発生は極めて少ないです。

表 「兵系黒4号」の栽培特性

系統名又は品種	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	主茎長 (cm)	株当たり 莢数	百粒重 (g)	子実収量 (kg/a)	標準 (%)	2L以上率 ¹⁾		粒の障害程度 ²⁾		
								(%)	(%)	裂皮	茶斑	しわ
兵系黒4号	8.11	12.04	67.9	181	67.7	21.4	117	75.5	0.3	0.2	0.0	
兵系黒3号(比)	8.11	12.12	68.6	134	71.3	18.3	100	81.3	0.7	1.4	1.0	

¹⁾粒型については、次の篩に残った粒重を示す。(2L以上: 10.1mm以上)、²⁾裂皮、茶斑、しわは0(無)~5(甚)で評価

「兵系黒4号」の株当たり莢(さや)数は「兵系黒3号」より35%多く、子実収量は16%多くなります。2L以上率はほぼ同等です。粒の障害程度は「兵系黒3号」よりも「茶斑」「しわ」が少なく、外観品質は良好です。

【技術の活用】

平成28年3月に品種登録出願しました。兵庫県養父市の醤油醸造メーカーと北部農業技術センター農業・加工流通部が共同で養父特区で醤油製品の開発に取り組んでいます。